

キビるフェス2021

～福岡きびる舞台芸術祭～

報告書

福 岡 き び る 舞 台 芸 術 祭

ひなた旅行舎（東京・宮崎） モノクロラセン presents（福岡）
ケツチ／元がまるちよば（福岡）のフィジカルワークショップ

世界劇団（愛媛）

2021
1.29（金）
3.7（日）

キビるフェスHP

パピオビールーム・ぽんプラザホール・ゆめアール大橋・なみきスクエア

主催（公財）福岡市文化芸術振興財団／千代音楽・演劇練習場（パピオビールーム）指定管理者 西部ガス都市開発株式会社／部属音楽・演劇練習場（ぽんプラザホール）指定管理者 福岡舞台芸術施設運営共同事業体
大橋音楽・演劇練習場（ゆめアール大橋）指定管理者（一社）九州地域舞台芸術振興会／千早音楽・演劇練習場（なみきスクエア）指定管理者 なみきスクエアみらいネットワーク／福岡市
企画制作 アートマネジメントセンター福岡
お問合せ：アートマネジメントセンター福岡 092-752-8880 キビるフェスホームページ：https://kibirufes-fuk.localinfo.jp ご来場の際はマスクの常時着用をお願いいたします。

目次

- 01. …… 目的・スケジュール
- 02. …… チケット・実績
- 03. …… 参加作品紹介（ひなた旅行舎）
- 04. …… 参加作品紹介（モノクロラセン presents）
- 05. …… 参加作品紹介（世界劇団）
- 06. …… 参加作品紹介（ケッチワークショップ）
- 07. …… 関連企画
- 08. 09. …… メディア掲載情報
- 10. 11. 12. …… アンケート ～フェス目的に照らした検証～
- 13. …… キビるフェス 5 回目を終えて

事業の目的

『全国と福岡の舞台芸術団体をきびる』

『観客と舞台芸術をきびる』

『福岡の舞台芸術活動の場をきびる』 など

福岡の方言の「きびる」＝「結ぶ」に思いを込めて実施する舞台芸術祭です。

目的①

団体同士を「きびる」こと、「交流」がキーワード！

上演団体同士や劇団と観客が互いに交流できる関連企画を予定しています。

参加劇団が互いの芝居を観劇して意見交換をしたり、アフタートークに参加したりと、交流の輪が広がることを願っています。

目的②

連続して作品を上演する催事を行い、魅力ある街づくりの一翼を担う

フェスティバル形式で実施し、他地域から福岡では観られない作品を招聘。

九州からは育成の観点から選出した団体の上演を行います。

目的③

音楽・演劇練習場が連携、文化芸術を盛んにする流れを作り出す

西部ガス都市開発株式会社（千代音楽・演劇練習場指定管理者）、

福岡舞台芸術施設運営共同事業体（祇園音楽・演劇練習場指定管理者）、

九州地域舞台芸術振興会（大橋音楽・演劇練習場指定管理者）、

なみきスクエアみらいネットワーク（千早音楽・演劇練習場指定管理者）が、

福岡市文化芸術振興財団・福岡市と共に、共同主催で開催いたします。

スケジュール

「★終演後、キビるトーク開催」

ひなた旅行舎 ゆめアール大橋		ケッチのフィジカルコメディワークショップ なみきスクエア				モノクロラセン presents バビオビールーム			世界劇団 ほんプラザホール	
1/29(金)	1/30(土)	2/18(木)	2/19(金)	2/20(土)	2/21(日)	2/26(金)	2/27(土)	2/28(日)	3/6(土)	3/7(日)
	14:00 ★			バントマイム 小学生 11:00	バントマイム 小学生 11:00		13:00	13:00 ★		14:00
19:30-19:00 ※		フィジカル 18:30-17:30 ※	フィジカル 18:30-17:30 ※	バントマイム 大人 14:30	バントマイム 大人 14:30	19:30-18:30 ※	19:30-18:30 ※		19:30-18:00 ★ ※	

※緊急事態宣言措置を受け変更

チケット・実績

チケット

共通チケット

チケット料金：4,600 円（限定 20 枚）

チケット取扱：ローソンチケット

販売期間：2020 年 12 月 5 日～2021 年 1 月 28 日

※販売実績 12 枚。上演 3 団体の演目が各 1 回観劇できるチケット。

共通チケット購入者のうち、先着 5 名までケッチ WS 半額。

（購入後、電話での日時指定が必要）

キビる割

2 団体以上観劇の場合、割引になるシステム

実績

会場	団体名	公演日時	客席数	入場者数	入場率
ゆめアール大橋	ひなた旅行舎	① 1 月 29 日（金）19:00	60 席	53 名	88%
		② 1 月 30 日（土）14:00	60 席	60 名	100%
パピオビールーム	モノクロラセン	① 2 月 26 日（金）18:30	47 席	49 名	104%
		② 2 月 27 日（土）13:00	47 席	42 名	89%
		③ 2 月 27 日（土）18:30	47 席	49 名	104%
		④ 2 月 28 日（日）13:00	47 席	55 名	117%
ぼんプラザホール	世界劇団	① 3 月 6 日（土）18:00	36 席	36 名	100%
		② 3 月 7 日（日）14:00	36 席	36 名	100%
なみきスクエア	ケッチWS	① 2 月 18 日（木）17:30		6 名	
		①観覧		1 名	
		② 2 月 19 日（金）17:30		7 名	
		②観覧		1 名	
		③ 2 月 20 日（土）11:00		3 名	
		③観覧		4 名	
		④ 2 月 20 日（土）14:30		12 名	
		④観覧		3 名	
		⑤ 2 月 21 日（日）11:00		9 名	
		⑤観覧		12 名	
		⑥ 2 月 21 日（日）14:30		6 名	
		⑥観覧		3 名	
合計				447 名	

▼キビるトーク

ひなた旅行舎	1 月 30 日（土）14:00 終演後	58 名
モノクロラセン	2 月 28 日（日）13:00 終演後	23 名
世界劇団	3 月 6 日（土）18:00 終演後	21 名



ひなた旅行舎（東京・宮崎）

『蝶のやうな私の郷愁』

ゆめアール大橋 大練習室

作：松田正隆

演出：永山智行

出演：多田香織、日高啓介

日時：1月29日（金）19:30 19:00

1月30日（土）14:00

（緊急事態宣言措置を受け変更）

料金：一般前売：2,500円（当日2,800円）

U 22割：1,500円

（鑑賞時22歳以下、前売当日共通）

作品紹介

台風が近づくある夕方、そのアパートでは、男と女がいつもの暮らしを、いつまでも続けていた。

雨が降り、風が吹き、二人はやがて何を見つめるのだろうか……

わたしたちは帰るべき場所を後にして、ひそやかにその相手と出会い、濃密な時間を過すだろう。

そうして、ひなた旅行舎のはじめての旅がはじまる。

Profile

KAKUTAの女優・多田香織の呼びかけに応じた FUKAIPRODUCE 羽衣の俳優・日高啓介と、劇団こぶく劇場の演出家・永山智行によって結成された演劇上演ユニット。それぞれの名前の頭文字をとって「ひなた」とし、また戯曲をガイドブックとして作品の世界を放し上演する者たちの居る場所という意味をこめて「旅行舎」と名づけた。

ふだんのそれぞれの所属劇団とは違うアプローチで濃密に作品づくりをおこなう。

公演チラシ



この度は大変お世話になりました。私がずっと俳優活動をしてきた地元福岡に、本作品を持っていきたい！！という強い願いが、キビるフェス参加という形で叶えられて本当に心からうれしく思います。コロナ禍での公演ということについて私としては、対策をきちんと講じた上で上演が許されるなら待っていてくださっているお客様に届けたいと強く思っていました。ただ、増え続ける感染者数に公演ができるかどうか不安を募らせながら公演に向かう時間は、精神的にかなり堪えるものがありました。年頭に発表された緊急事態宣言発令に伴い、公演の開催に関してキビるフェス関係者の方々が公演実現に向けてたくさんのご尽力をいただいたこと、心より感謝いたします。無事に福岡入りすることができ、会場となるゆめアール大橋でカンパニー一同とキビるフェス関係者のみなさまと会えたときの喜びは今でも鮮明に覚えています。また、舞台上から見た、たくさんのお客様が座ってくださっていた客席の景色も。これからも演劇を続けよう、またここ福岡に作品を持っていこう、そう思えるしあわせな時間を、大切な場所で大切な人たちと共有することができたこと、しあわせでした。

多田香織

お客様からの感想

- ・印象派の絵画を見ているような作品でした。お二人の声、セリフ回し、舞台セット、そしてライティングが美しかったです。
- ・観た後のなんともいえない感覚があった。アフタートークでその感覚を伝えようとしていたということがわかり、世界の深さをあらためて楽しめた。
- ・身体の状態によると思うけど、今の自分にほしいと思う作品ではなかった。
- ・演者の二人がとても魅力的でした。またひなた旅行舎みたいです。
- ・久しぶりに芝居・演劇をみました。そういえば見ていなかったのだなと思いました。芝居には余白があって、たっぷり自分で考えるのもよいし誰かと語り合うのもよい。そんなことを思い出させてくれる作品でした。
- ・劇場で体験できてよかった作品でした。大変な状況の中きてくれてありがとう。

参加作品紹介



モノクロラセン presents (福岡) 『衝突と分裂、あるいは融合』 パピオピールーム 大練習室

作・演出：黒澤世莉

出演：五十嵐晴香 (ジャックと雀)、進藤祐行 (劇団ひまわり)、
すずみななみ (演 JOY ユニット Hungry)、立石義江、
戸塚有輝、富田文子、一凜、東亜由美、
森唯美 (劇団言魂)、大城真和 (A プロ)、上条拳斗、
篠田昌人 (ピロシキマン)、東沙耶香 (劇団ショーマンシップ)

日時：2月26日(金) 19:30 18:30

2月27日(土) 13:00 / 19:30 18:30

2月28日(日) 13:00

(緊急事態宣言措置を受け変更)

料金：一般 前売：2,500 円 (当日 2,800 円)

U 2 5 割：1,500 円 (前売・当日共通)

高校生以下：1,000 円 (前売・当日共通)

作品紹介

1960年代日本、高度経済成長時代と呼ばれたあの頃、原子力発電の技術は将来を照らす希望の光だと信じられていた。原子力の研究所を舞台に起きる事故をきっかけに、愚かで、感情的で、そして愛おしい人たちが織りなす喜劇。

2014年に時間堂によって創作上演されたこの作品を、演技トレーナーでもある原作者黒澤世莉を招聘し、約半年のマイズナーテクニックによるワークショップ開催を経て、福岡の俳優たちで装いも新たに上演します。

Profile

村井善幸の主宰する劇団、モノクロラセンによって立案製作される企画。同劇団のコンセプトと同じく、「福岡の演劇を横断的につなぎ、ささやかながらも活性化の一助とする」こと、「演劇の体験・学習・成長の場としても良質な環境」となることを目指している。

モノクロラセン：2012年より村井善幸のソロユニットとして福岡市内を拠点に演劇活動を開始。2016年には劇団化して、以後毎年1～2回のペースで公演を行っている。活動当初より行ってきた「福岡の演劇を横断的につなぎ、ささやかながらも活性化の一助とする」ことに加え、「演劇の体験・学習・成長の場としても良質な環境」としての劇団づくりを心がけている。

公演チラシ



初めてキビるフェスに参加させていただきましたが、今回は大変な世情の中で、前年までと大きく異なる対応を迫られることの連続で苦労しました。

その中で、福岡で演劇に携わるものとして、キビるフェスは中止せず開催までしていただけたことに感謝、というこの一点に尽きます。開催判断や公開や情宣などが、状況を見ながら後ろ倒しになっていくのもやきもきしましたが、フェス運営サイドも大変なご苦労をされていたようで、頭の下がる思いです。

公演会場についても、本来公演を行なう場所でないということ出演者スタッフに負担をかけたこともいくつかあったのですが、詳細については既に担当者と共有されていることなので、今後に期待したいと思います。

結果として、自劇団単体ではやれない規模の企画をやることができました。この経験を糧に今後も演劇活動をしつとくしていこうと思います。いやー、大変でした。大変でしたし、それ以外に書くことがあまりないような事態でしたけど、ひとつ感じたことは、公演が始まってお客様をお迎えしたとき、来ていただいた方は皆様とても温かかったです。こういう状況下で公演を行ったことについて、支えていただいたのだなと感じました。

村井善幸

お客様からの感想

- ・舞台セットや配置が洗練されてて良かったです。パピオ大練が見違えました。出演者さんの衣装もテーマカラーがあって面白いですね。
- ・生の演技を初めて拝見しました。素晴らしかったです。
- ・すばらしい作品でした。ぜひ全国の学校などで上演してほしいです。
- ・道具が積み上げられることで演技が見えづらくなったり、箱の音でセリフが聞こえなくなることが意図的ではあってもストレスだった。
- ・3.11から10年、来年はオリンピック。このタイミングで見られたのは中々に意味があるように思う。
- ・現実論、理想論、感情論、それぞれがバランスよく配置され、議論の中でそれらが時に反転していく様。素晴らしい作品でした。一つ一つの言葉の扱い、それぞれの立場への尊重に作品としての深い知性と誠実さを感じました。



世界劇団（愛媛）
『ひとよひとよに呱呱の声』
 ぽんプラザホール
 作・演出：本坊由華子
 出演：加藤春菜（シヤカカ）、本坊由華子
 日時：3月6日（土）19:30 18:00
 3月7日（日）14:00
 （緊急事態宣言措置を受け変更）
 料金：一般 前売：2,800円（当日3,000円）
 U25 割前売：2,000円（当日2,200円）

作品紹介

今は昔、竹取の翁といふものありけり。
 野山に混じりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。
 なをば讃岐の造となむいひける。
 生物学的なヒト、道徳倫理上の人、あらゆる「ヒト」の定義から外れた人は人ではないのか。
 呱呱の声を上げる生命に耳を傾けよ。
 生命の営みに祈りを捧げる世界劇団の人間賛歌。

Profile

愛媛県を拠点に活動する医師と医学生劇団。毎年ツアー公演やコンペティションへの参加を積極的に行い、県内外で高い評価を受けている。幻想的で熱を持った「劇文体」を特徴とした医学用語を詩的に織り交ぜる表現は、「サイエンスポエム」と評され、躍動感溢れる身体表現も作風の特徴の一つ。医療現場では演劇的な手法を用いたワークショップを、演劇現場では医学やサイエンスを用いた創作ワークショップを実施して、創作活動のみに留まらない職能を活かした活動も行っている。

公演チラシ



当初は、楽日翌日に緊急事態宣言の解除が予定されていましたが、劇場入り直前に1週間前倒しの解除という非常に慌ただしい中での不安が募る初の福岡公演でした。しかし、ふたを開けると、感染症対策で減席したものの満席という嬉しい結果となりました。今後の糧となる公演の感想もTwitterなどで多く得られました。

世界劇団は近年、地元愛媛だけでの活動に留まらず、積極的に県外でのツアー公演を実施しています。本作は、劇団の活動スタイルを鑑みて、この先いつ終息するか定かでないコロナ禍に於いても公演活動の継続を目的として製作した作品です。とはいえ、通常の公演に必要な作業に加えて、感染症対策での人員確保や様々な準備は、他地域ゆえ想像以上の大変さがありました。これらを変えながらもクリアできたのは劇場さんや事務局さんの助けがあったからこそで、劇団単体での実施は難しかったかもしれません。準備段階から公演当日まで、何から何までキビるフェスに携わる方々の手厚いサポートには本当に助けられました。「こんな時期に演劇をやっているのか？」ではなく、「こんな時期だからこそ演劇をやらなければ！」と、事務局さんや、お客様に背中を押していただいたような気がします。関わって下さった多くの方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

また福岡で公演を行います！次は福岡の美味しいものを喰らう！！

北村功治 (kitaya505) / 世界劇団制作

お客様からの感想

- ・真ん中の竹の光り方が蓄光で工夫されていてすごいと思いました。歌の演出も内容も好きでした。
- ・私たちが舞台の中にあるようなセットにとっても魅力を感じました。同じ衣装、同じ演者さんなのに違う人物の演じ分けがすごくて感動しました。
- ・奔放な想像力とパワフルな表現の嵐。
- ・絶望を寄せ集めたもの？よく分からなかった。
- ・観劇したことが今後の自分に何をもたらすのかわかりませんが、あの重たさ、不快感が自分の中でどう処理されていくのかが興味ある。面白い。
- ・凄かった。舞台上の生も、枯れも、足元からじわじわと自分の体に迫ってくるかのようなえげつなさがあった。



ケッチ / 元が〜まるちょば (福岡) 『フィジカルコメディワークショップ』 なみきスクエア 大練習室

フィジカルコメディワークショップ	パントマイムワークショップ
日時:2月18日(木)・19日(金)	★小学生クラス
18:30〜21:30 17:30〜20:30 (緊急事態宣言措置を受け変更)	日時:2月20日(土)・21日(日)
料金:	料金:
大人:22,000円(2日間通し) 12,000円(1日のみ)	2,500円保護者1名観覧券付き(1日)
高校生以下:15,000円(2日間通し) 8,500円(1日のみ)	★大人クラス
観覧料金:	日時:2月20日(土)・21日(日)
大人:11,000円(2日間通し) 6,500円(1日のみ)	14:30〜17:00
高校生以下:7,500円(2日間通し) 4,500円(1日のみ)	料金:
	大人:3,500円(1日)
	高校生以下:2,500円(1日)
	観覧料金:
	大人:2,000円(1日)
	高校生以下:1,000円(1日)

フィジカルコメディワークショップ

俳優やパフォーマーなどプロを目指すアーティスト、表現や演技を真剣に学んでみたい人にオススメ！
パントマイム、クラウニングインプロ(即興)、手品を取り入れて、言葉を使わずにコメディパフォーマンスをするために必要な要素を少人数で2日間集中して学びます。

パントマイムワークショップ

初心者大歓迎！パントマイムの基本的な技(見えな
い壁、綱引き、カバンの中固定など)を学びます。
言葉を使わずに身体で表現する楽しさを体験しま
しょう！

Profile

ケッチ (元が〜まるちょば)
フィジカルコメディアン / マイムクラウン / 演
出家 / 講師
7年のソロ活動後、が〜まるちょばを結成。
2019年が〜まるちょばとしての20年間の活動
に終止符を打ち、再びソロに転向。ヨーロッパ
に渡り即興演劇、クラウニングなどを学び直し、
ソロパフォーマンスだけでなく、ワークショッ
プや演出の仕事も始める。
(パフォーマンスもワークショップも演出も世界中でバリバリ
始めるぞ！と思った矢先、新型コロナウイルスの影響でつまづ
き、演出の仕事をしていたメルボルンから半強制的に帰国)



2019年、が〜まるちょばを脱退、ソロ活動を始め、拠点を東京から海外に移しました。フィジカルコメディワークショップ (WS) をイタリアのある劇団のために開催したところ、大好評でした。手応えを感じ、第2弾を考えていた矢先、世界的な Covid-19 の流行のため、帰国を余儀なくされました。帰国後は半年ほど長崎県雲仙市に滞在した後、福岡市に拠点を移しました。と同時に、運よくキビるフェスでの WS の機会を頂きました。帰国後も何度か WS をしていたのですが、すべてプロを目指す方・プロ向けのものでした。キビるフェスでは、それに加えて一般向け・小学生向けのクラスのご提案もいただき、初挑戦しました。少しでも言葉に頼らないパフォーマンスの楽しさを味わって頂きたいと臨みましたが、フタを開けてみたらそれ以上の成果を感じました。特に小学生クラスでは、予定外に親御さんをステージに引っ張り上げた際、子供達から生き生きとした反応があり、即座にそれに応えて変わっていく親御さんのパフォーマンス、さらにまたそれを見て子供達が目が輝くという好循環を目の当たりにしました。言葉を介さずにも、コミュニケーションが豊かに成立するのを会場全体で感じたかけがえのない瞬間でした。「言葉がなくても豊かなコミュニケーションが取れる」という経験は、舞台上立つ人の自信になるだけではありません。舞台人ではなくても(今後また海外との自由な往来が再開した際に)、海外で現地の人たちとやり取りする時、またインバウンドの旅行者たちとやり取りする上でも、必ず役に立つはずです。そんな経験の積み重ねの末に、フィジカルコメディに挑戦する人が出てきたら最高です！
プロやプロ向けに教えたいというところから始めた WS でしたが、キビるフェスでの体験を経て、「今後も一般向け・子供達向けのクラスを積極的に開催したい」という思いにたどり着けたことに感謝しています。参加者のみなさん、スタッフの皆さん、ありがとうございました！

ケッチ (元が〜まるちょば)

お客様からの感想

- ・演技力よりも人間力を養われるワークショップだと思いました。日常でとても役立つものです。スクールに通いたいっ！と思いました！(フィジカルコメディ WS 参加者)
- ・申込みが12月だったから忘れそうだった。できれば1週間前とかメールや電話でアナウンスがあればと思った。今日のケッチさんの WS の練習や体験も楽しかったし、プロ目線のお話が興味深かった。近年学校教育で手話や職場体験、ダンスなどが取り込まれているように、世界共通のパントマイムもあっていいと思いました。(パントマイム大人クラス参加者)
- ・今すぐは全て理解できなくても、その時がくれば気がつく、そういう教え方をされる姿、魅力的でした。(パントマイム大人クラス参加者)
- ・はじめてパントマイムのいろんな種類が知れてよかったです。エスカレーターが一番難しかったです。(パントマイム小学生クラス参加者)
- ・子供たちが楽しめてかつ身についたとも感じました。ありがとうございました。(パントマイム小学生クラス見学者)

キビるトーク

進行：柴山麻妃（劇評家）

実施内容：

2021年1月30日（土）

ひなた旅行舎

「蝶のやうな私の郷愁」14:00 終演後

登壇：多田香織、日高啓介、永山智行

2021年2月28日（日）

モノクロラセン presents

「衝突と分裂、あるいは融合」13:00 終演後

登壇：村井善幸、黒澤世莉

2021年3月6日（土）

世界劇団

「ひとよひとよに呱呱の声」18:00 終演後

登壇：本坊由華子、村井善幸（モノクロラセン）

<報告>

コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年まで実施し好評を得ていた「キビるカフェ」の実施が困難となった。このキビるカフェでは、観劇後にお茶を飲みながら、自分の中に起こった思いをシェアし、作品を味わい尽くすことを目的に実施していた。今回のキビるトークはこのキビるカフェの企画意図を汲むものとし、観客が聞きたいと思うであろうことを引き出し、作品そのものを深く掘り下げられる機会を提供することを念頭に実施した。

聞き手の柴山さんが観劇によって興味をもったことをきっかけとし、演出意図や演技、戯曲の解釈等、作品創作に特化して登壇者から話を引き出してもらった。コロナ対策により観客からの質問が受けられない中だったが、柴山さんによる的確な進行により、観客から「アフタートークに残ってよかった」という声が多く聞かれ、このトークを含め作品を堪能してもらえた様子が見ええた。

ひなた旅行舎でのトークの様子



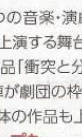
2021 年 1 月 1 日 _ 市政だより



キビるフェス2021

～福岡きびる舞台芸術祭～

開催期間 1月29日(金)～3月7日(日)
 会場1 パピオビールーム大練習室
 (博多区千代一丁目)、ぼんブ
 ラザホール(博多区祇園町)、
 ゆめアール大橋大練習室(南
 区大橋一丁目)、なみきスクエ
 ア大練習室(東区早千四丁目)



世界劇団(愛媛県)

キビるフェスは、市内の四つの音楽・演劇練習場を会
 場に各地の演劇団体の作品を上演する舞台芸術祭です。
 原子力発電を題材とした作品「衝突と分裂、あるいは
 融合」には、地元・福岡の俳優陣が劇団の枠を超えて出演
 します。また、東京・愛媛の2団体の作品も上演します。

●パントマイムのワークショップも

パントマイムや手話を交
 え、言葉を使わないパフォー
 マンスを学びます。パントマ
 イムの基本的な技を学び初
 心者向けの講座もあいます。



俳優は元ガ
 ーのシゲタ
 ちよ

◇ ◇ ◇

「きびる」とは、福岡の方で「結ぶ」「つなぐ」の意味。
 舞台芸術を通して、参加団体・観客・会場をきびります。
 日程や料金等の詳細は、ホームページ「(キビるフェス
 2021)で検案」でご確認ください。

■問い合わせ先/アートマネジメントセンター福岡

☎752-8880 ■262-5047

2021 年 3 月号_地域創造ニュースレター

キビるフェス2021

福岡演劇フェスティバルを引き継いで2017年から始まった演劇祭。福岡の方言で「結ぶ」「つなぐ」を意味する「きびる」を掲げ、市内の音楽・演劇練習場が連携し、市内外の演劇団体を招聘して開催している。5回目の今回は、福岡からモノクロラセン、ケッチのほか、ひなた旅行舎(東京・宮崎)を迎え、3月は世界劇団(愛媛)が新作を上演する。

[日程] 1月29日～3月7日

[会場] パピオビールーム、ぽん

2021 年 1 月 23 日 _ 每日新聞

「キビるフェス2021」福岡きびる舞台芸術祭が29日、3月7日(福岡市)で開かれる。3劇団・ユニットが参加。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、例年よりも規模を縮小して実施する。

開演を飾るのは「ひばり旅行舎(東京・宮崎)」の「蝶々のやうな私の郷愁」(29、30日)南区のゆめアール大橋大練習室。時に切ない夫婦の姿が描

出される。

「モノクロラ Presse」(福岡)の「衝突と分裂 あるいは融合」(3月28、29日)博多区のパピオホール大練習室はユーモアをまみしなら原発の問題を扱う。黒澤処和作・演出で、福岡の俳優が出演する。

最後に登場するのは「世界劇団一(愛媛)のひとよりどきに唄々の声」(3月6、7日)博多区のはづらザホールは「三竹取物語」から着想を得た新作。精神科医、本坊由華子が作・演出を手かけ、本坊と加藤香葉・シヤカが出演する。このほか、フィジカルコメディアン、ケッチによるワークショップ(3月18、19日)東区のみぎすくエア大練習室 などがある。問い合わせはアートマネージメントセンター福岡(092-7702-0000)へ。**【渡辺晃一】**

2021 年 1 月 23 日 _ 每日新聞

舞台公演 コロナの壁

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、舞台公演は大きく縮小されていく。前回は、感染防止対策として、観客の定数は減らしているが、練習場の確保に悩んでいる公演もある。公演時人数制限による収入減に苦しむ一方、会場を借りられない公演は、チケットを確保するだけでも大変。

（本報記者）



練習場確保に難 チケット不振

「や」本格的な準備期間は、公演まで1週間ほどしかない。公演場所の確保は、公演1週間前までに済ませる必要がある。公演1週間前までに、出演場所が決まらなければ、出演場所を確保することができない。公演1週間前までに、出演場所が決まらなければ、出演場所を確保することができない。公演1週間前までに、出演場所が決まらなければ、出演場所を確保することができない。

（本報記者）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、舞台公演は大きく縮小されていく。前回は、感染防止対策として、観客の定数は減らしているが、練習場の確保に悩んでいる公演もある。公演時人数制限による収入減に苦しむ一方、会場を借りられない公演は、チケットを確保するだけでも大変。

（本報記者）

2021 年 2 月 22 日 _ 西日本新聞

劇団ニット ひなた旅行社 俳優

近況往来

多田善雄さん

コロナ禍で「芯」太く

先輩の演劇人2人自ら声を掛けて立ち上げた演劇ニット「ひなた旅行社」で、福岡市の演劇イベント「キビのフェス」に参加した。普段は東京で活動し、故郷の舞は約3年ぶり「ふさぎ」で公演できる喜びはやっぱり特別です。マスクで隠れた口元ほころぶ笑顔をみせた。昨春の福岡公演は、宮崎、東京、三重の3市、富嶺以外は新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期し追いつけなかった。今年も吹く逆風。1月末に「キビのフェス」で敢行された公演も2度目の緊急事態宣言下の上演と

なった。昨春の最初の緊急事態宣言は、宣言開始を盼いでおもしろい。今では「こじ」を迷って聞いているが、今度はやりたいと思ったこの1年で、対策を徹底し、感染者を出さずに公演をやりきるためのノウハウを蓄積したからだ。

「劇場をなんに危ない場所ではない。やっていたのか」と総口部分は比率が減ってきた。自粛期間にやりたいアイデアがいづつも湧いた。ひなた旅行社が思い立った。絵本を作った読聞かせをしてみたい。「夢が広がるました」と言い切る。

福岡市の入居団「万寿ロープ」の劇団「K&R P&T A」入団後、カラオケスタジオ「モエ」を開業、機に上京して年目。

「福岡時代は夢だった役者を続ける」が、東京に来てから生活の一部が変わったが「夢」

「ひなた旅行社」を立ち上げてからは、誰かに引張ってもらい、劇団員ではなく、率先して引っ張る立場にもなった。

「所属劇団での意識も変わるかもしれないけれど、ひなたは、自分と探しか探検でもありますが」

未曽有の困難と向き合い、新たな挑戦も経て、俳優としての芯がまた一つたつたのかも知れない。34歳。

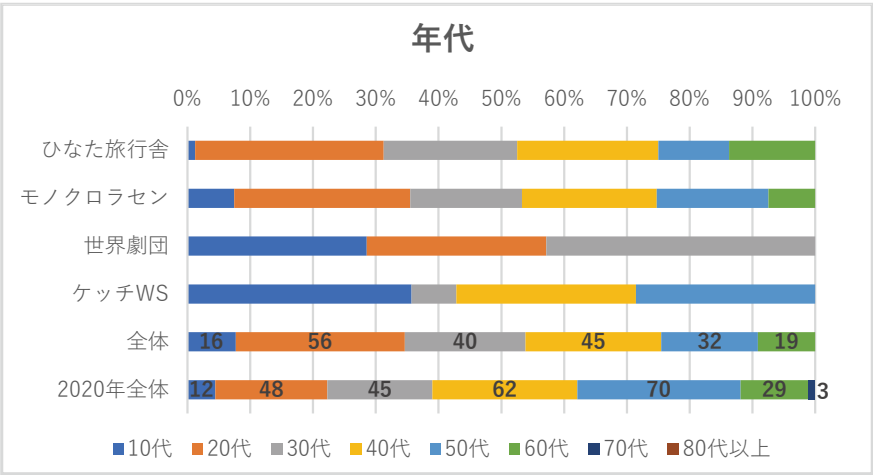
(佐々木樹樹)

アンケート ～フェス目的に照らした検証～

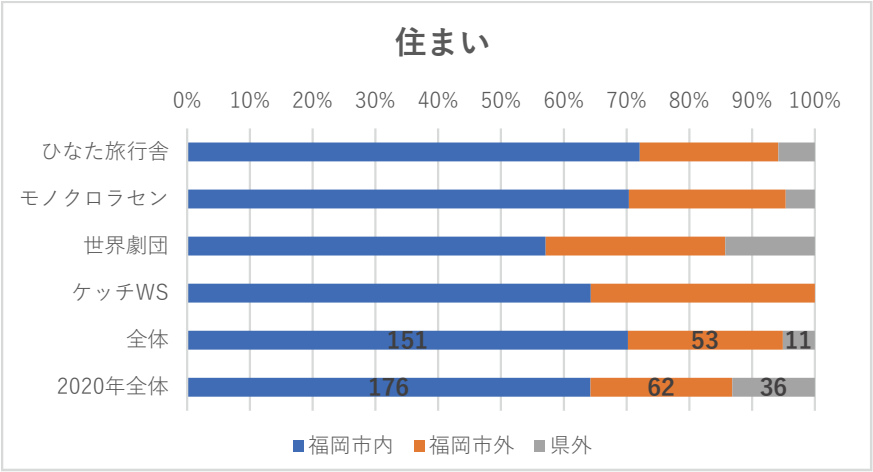
〈キビるフェスの目的〉

	市民（鑑賞者）	劇団（地元）	劇団（他都市）	その他（行政など）
全国の舞台芸術 × 福岡の舞台芸術	①質の高い作品を観覧する 機会の享受 ②質の高い作品の観覧に よる鑑賞力の向上	④質の高い作品の観覧や 先進的な他都市劇団との 交流による劇団及び作品 の質の向上 ⑤他団体の観客に観劇して もらえる機会の享受	⑩作品を広範にアピール したいという表現者とし ての欲求の実現 ⑪他団体の観客に観劇して もらえる機会の享受	⑯市内の演劇活動の質の 向上 ⑰他都市劇団の再来福の 期待
観客 × 舞台芸術	③市内外の劇団と 交流する機会の享受	⑥新たなファンの獲得に よる「知り合いの観劇」 からの脱却 ⑦市民の鑑賞力向上に伴う 劇団及び作品の質の向上	⑫新たなファンの獲得に よる活動の拡大 ⑬通常の活動範囲エリア外 の観客の反応による劇団 や作品の質の向上	
舞台芸術の場 × 舞台芸術の場		⑧劇場ではない場所での 公演実施による制作力 や演出力の向上と、 多様なスペースで 公演できる実力の獲得		⑱大きなイベントとして 周知することによる 高い広報効果 ⑲練習場の存在や 活用方法を周知
その他		⑨広報や制作進行など 公演周辺業務の負担軽減	⑭広報や制作進行など 公演周辺業務の負担軽減 ⑮助成金など外部資金の 獲得可能性が向上	⑳福岡の演劇文化の活性化 他都市劇団や遠隔地から の観覧者の飲食・宿泊に よる経済効果

ひなた旅行舎・モノクロ
ラセンは幅広い年代の鑑
賞、世界劇団は演劇関係
者、ケッチWSは家族
での参加を取り込んだ。
①②



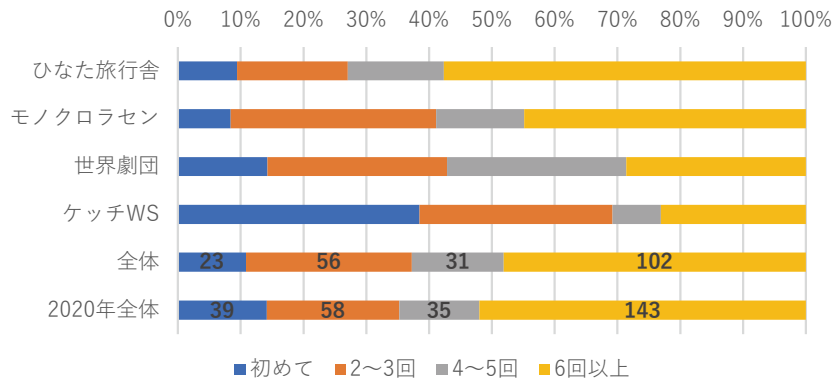
緊急事態宣言下での開催
となり人の動きは制限さ
れる結果に。



ワークショップ開催により、フェスの活動を知ってもらうことができた。舞台観劇へつながるよう次回以降の来場者へのフォローをおこなえるかどうか課題。

①②⑥⑫⑬⑱

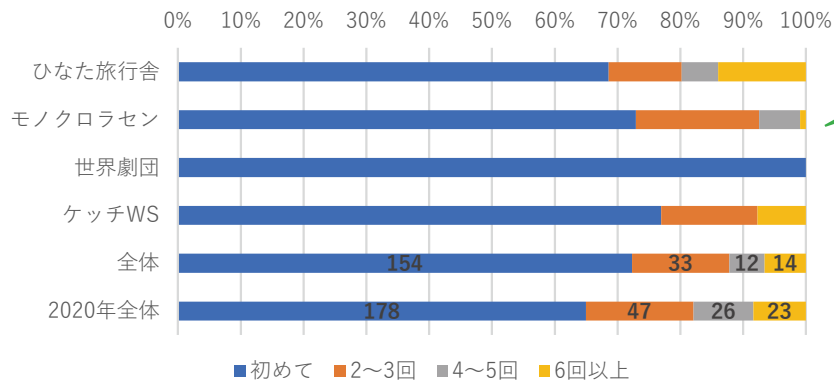
年間の舞台観劇回数



各団体の初見の割合が高く参加団体と新たなお客様との出会いの創出に、昨年に引き続き貢献した。

⑤⑥⑪⑫⑬

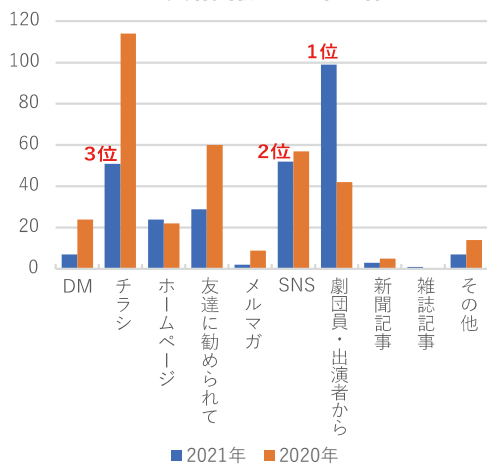
劇団の鑑賞回数



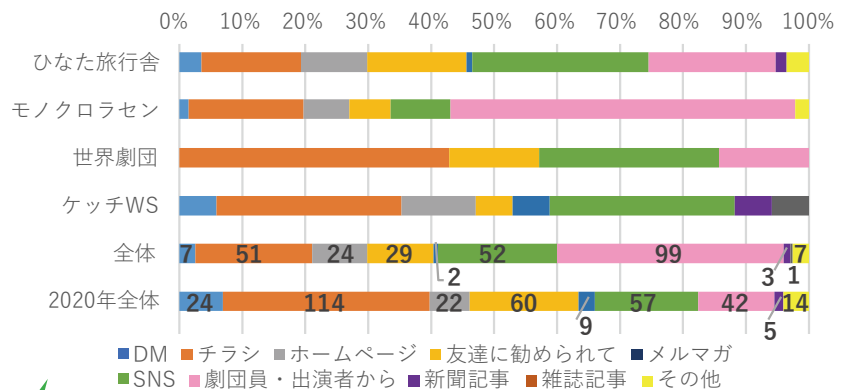
福岡の団体でこの初見率はフェスならではの。

昨年まで安定の1位だったチラシによる来場者が減少。コロナ渦でチラシが配布できなかったことが響いた。SNSでも緊急事態宣言の中、積極的な広報ができなかった。⑨⑭⑱

公演情報入手経路



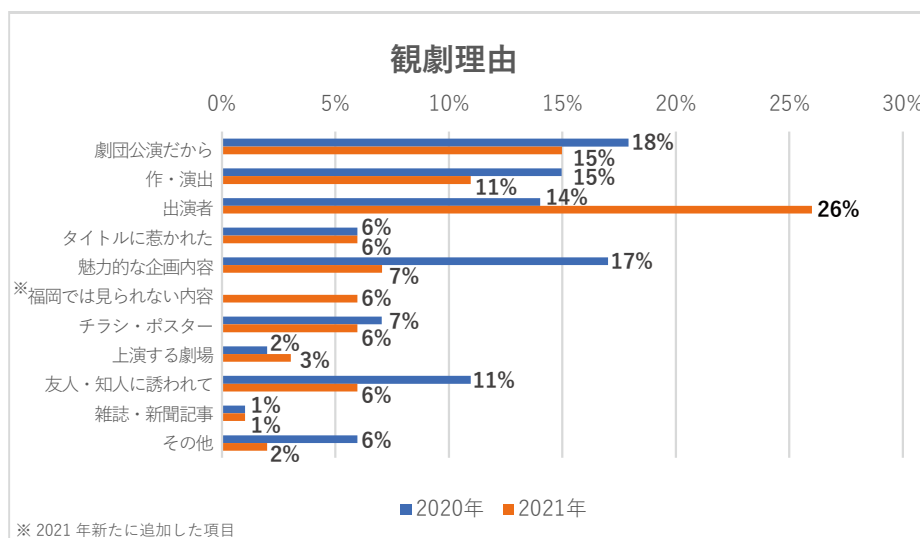
公演情報入手経路



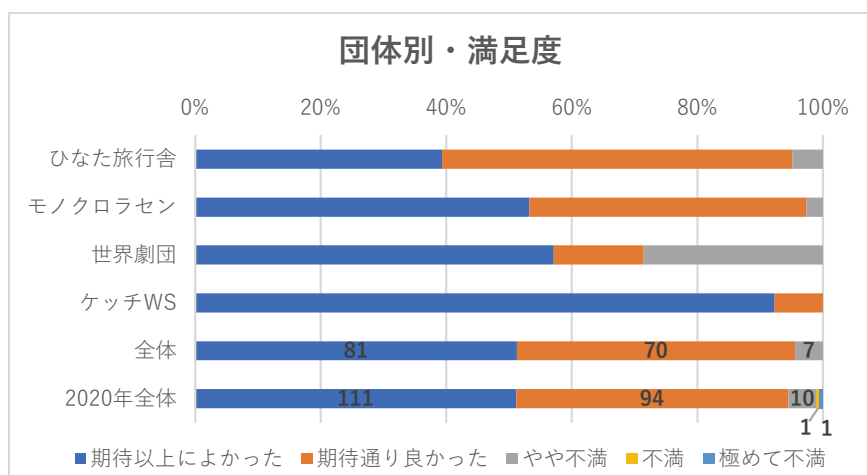
ケッチWSの広報については媒体の露出もありバランスの良い結果に。ケッチ所属事務所の協力が大きかった。

アンケート ～フェス目的に照らした検証～

企画内容の魅力が減少してしまっているのは残念。福岡になじみが深い演出家・出演者で構成された「ひなた旅行舎」、地元出演者の多い「モノクロラセン」による動員は多く出演者からの声かけによる来場が伸びた。



一定の満足度が得られるラインナップであった。引き続き幅広い層に舞台芸術の楽しみ可能性を届けられるようなラインナップを目指す。①



次年度に向けて

■ 広報宣伝

新型コロナウイルスの影響により、情報確定の遅れ・チラシ製作の遅れが発生。また、3つの演目は緊急事態宣言下での実施となり、積極的な広報が実現できなかった。昨年に引き続いてのことだったが、「状況が改善するのではないか」という期待のもと、対応が遅れた。この状況下での実施となることを想定し、広報計画の見直しを行っての開催を目指す。

■ 交流

団体同士の交流は実現しなかった。ウェブ上での記者会見時にオンライン上で一堂に会したのみ。コロナウイルスの影響とはいえ、交流をうたっているフェスであるため、大変残念だった。こちらにも影響が続くことを踏まえ、計画を見直していく。

■ ラインナップ

引き続き、フェスだからみられるものを目指して選定を行う。
今回、福岡の団体とは踏み込んだ関わりを目指した。次回以降も検討してゆく。

キビるフェス 5 回目を終えて

最初に「キビるフェス」が始まったのは、2017 年 2 月。この時はパピオビールームとぽんプラザホールの 2 つの練習場を会場に開催されました。その翌年の 2018 年からはなみきスクエアが加わり、さらに翌年の 2019 年にはゆめアール大橋でも開催されたことで、市内 4 つの練習場のすべてを会場としながら今回 5 年目を終了したことになります。

この間に思いもよらない新型コロナウイルスに見舞われ、歴史にとっては後年大きな分岐点となるであろうこの出来事は、舞台芸術にも相当な打撃を与えつつ、それはまだまだ続いています。

今回のコロナ禍で映像による舞台芸術作品の配信の可能性も大きく広がってきました。

だからこそ尚一層、同じ空間で音楽を聴いたり、生の舞台を観たりできたことが、貴重で素敵な体験であったことを知る結果となったようです。

第 1 回に参加してもらったトラッシュマスターズに象徴されるように、地方に受け皿がなければ劇団の拠点とする地域以外での公演は容易なものではありません。また地元で活動する団体や個人にとっても、他地域からの生の舞台を観ることは重要な気づきの機会となります。

福岡市内の 4 つの練習場が協力しながら実施している小さくて手づくり感満載のこのフェスティバルですが、「キビるトーク」や「キビるカフェ」にご協力いただいている皆様、そして地元のマスコミや企業の皆様に支えていただきながら、息の長い舞台芸術祭となってもらいたいと願っています。

アートマネジメントセンター福岡

代表理事 糸山裕子

アクセス

ゆめアール大橋

福岡市南区大橋 1-3-25

- ▷西鉄電車 天神大牟田線「大橋」駅東口すぐ
- ▷西鉄バス 「西鉄大橋駅」バス停下車すぐ

なみきスクエア

福岡市東区千早 4-21-45

- ▷西鉄電車 貝塚線「千早」駅より徒歩約 1 分
- ▷西鉄バス「千早駅」バス停より徒歩約 1 分
- 「名香野」バス停より徒歩約 5 分
- ▷JR 鹿児島本線「千早」駅より徒歩約 1 分

パピオビールーム

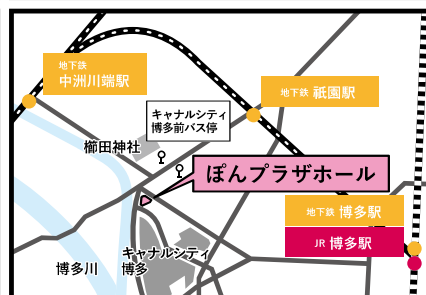
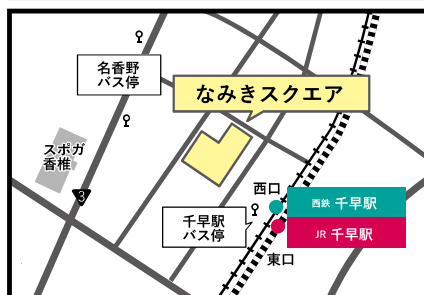
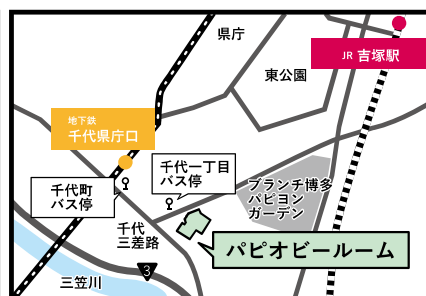
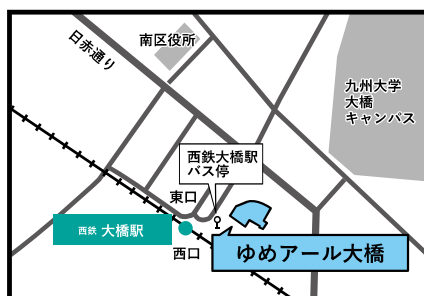
福岡市博多区千代 1-15-30

- ▷地下鉄 「千代県庁口」駅より徒歩約 3 分
- ▷西鉄バス「千代一丁目」バス停より徒歩約 1 分
- 「千代町」バス停より徒歩約 3 分
- ▷JR 鹿児島本線「吉塚」駅より徒歩約 13 分

ぼんプラザホール

福岡市博多区祇園町 8-3

- ▷地下鉄 「祇園」駅より徒歩約 6 分
- 「中洲川端」駅より徒歩約 10 分
- ▷西鉄バス「キャナルシティ博多前」バス停下車すぐ
- ▷JR 「博多」駅より徒歩約 15 分



キビるフェス 2021 ～福岡きびる舞台芸術祭～

主催：(公財)福岡市文化芸術振興財団、西部ガス都市開発株式会社、
福岡舞台芸術施設運営共同事業体、(一社)九州地域舞台芸術振興会、

なみきスクエアみらいネットワーク、福岡市

企画制作：アートマネジメントセンター福岡

お問合せ先：アートマネジメントセンター福岡

福岡市中央区大名 1 丁目 1 4-2 8

第一松村ビル (紺屋 2023)405 号

092-752-8880

<http://www.amcf.jp/>